

(令和4年6月静岡県議会定例会)

四本 康久 議員(ふじのくに県民クラブ)の一般質問 に対する答弁
(質問日:2022/06/20 3 番目)

答弁者:002 出野副知事

通告番号:3-()-

関係所属:スポーツ・文化観光部 スポーツ振興課

3 静岡県ソフトボール場「富士山スタジアム」の利活用について

<質問要旨>

富士山の麓・富士宮市の山宮スポーツ公園にある静岡県ソフトボール場は、その立地にふさわしい「富士山スタジアム」の愛称を持つ全国屈指の施設である。

開設年の平成10年には、「第9回世界女子ソフトボール選手権大会」が開催され、また、平成15年には、本県で開催された「第58回国民体育大会NEW!!わかふじ国体」のソフトボール会場にもなり、全国各地から競技関係者や観戦客が訪れた。これらの大会の開催は地元を経済波及効果をもたらすだけでなく、富士宮の名前を国内外に発信する絶好の機会となった。

しかしながら、建設から20年以上が経過し、富士山スタジアムにおいても施設の老朽化が懸念されており、これらに対応するため、県は、令和元年度にグラフィックボードや外野フェンスの改修を行い、令和4年度から6年度にかけて、観客席の防水、バックスタンドの壁やコンコースの床の補修など様々な修繕工事を行う予定と聞いている。

関係者のご尽力により、施設の整備が進んでいるが、一方で、大規模大会の誘致や平日の一般利用が進まないなど利用面での課題がある。

このため、地元自治体や競技団体をはじめ、宿泊業者や観光団体などとも幅広く連携して、本県が誇る富士山スタジアムに、ソフトボールのトップレベルの大会や、チームの合宿を誘致するなどして、富士山スタジアムの利活用を進めていくべきだと考えるが、県の所見を伺う。

<答弁>

静岡県ソフトボール場「富士山スタジアム」の利活用についてお答えいたします。

静岡県ソフトボール場は、平成10年の開場以来、様々な記念すべき大会の舞台となり、多くの皆様に愛されてまいりました。現在、昨年度策定した中期維持保全計画に基づき、老朽化した施設の改修を順次進めながら、安心安全に、かつ快適に利用していただけるよう、環境整備に努めているところであります。

この施設は、「富士山スタジアム」という愛称のとおり、雄大な富士山を仰ぎ見る素晴らしい立地条件と、全国最大規模の収容人数を備えた、本県が誇るソフトボール専用スタジアムであります。その特長を最大限発揮し、より多くの皆様に利活用いた

だけるよう、施設設置者である県と、管理運営を行う富士宮市等が一体となって取り組んでまいります。

通常利用において、平日の利用者が少ないということが課題であったため、今年1月から、平日の施設や照明の利用料金を大幅に見直した結果、県内実業団チームの練習拠点として利用されるなど、利用率が格段に向上したところであります。加えて、県では、東京オリンピック金メダリストであり、かつ、県民栄誉賞を受賞された渥美選手や山崎選手、また同じく金メダリストの峰選手を講師とする「ドリカムスタート事業」として、ジュニア選手向けのクリニックを平日に開催するなど、競技力強化の場としての利用も促進してまいります。

また、期待される大規模大会や合宿の誘致につきましては、地元富士宮市の持つポテンシャルや魅力の発信が重要であります。このため、今年1月に設立いたしました県のスポーツコミッション推進本部を通じて、全国的なスポーツビジネスの展示会に出展し、ロケーションの良さや、自然、歴史、食など、富土地域の多彩な魅力を発信してまいります。

加えて、大規模大会や合宿の運営においては、周辺の練習会場や宿泊先の確保などが大きな課題となっております。今後、富士宮市をはじめ、周辺の観光事業者などを含めた関係者と連携して取り組むことにより、トップレベルの大会やチーム合宿の誘致につなげてまいります。

今後は、富士山スタジアムが名実ともにソフトボールの聖地として、存在感を国内外に発揮できるよう、地元富士宮市をはじめ、競技団体や関係の皆様とともに、一層の利活用に向けて取り組んでまいります。

以上であります。